

平成24年 3月期
第2四半期決算概況

平成23年11月

西京銀行

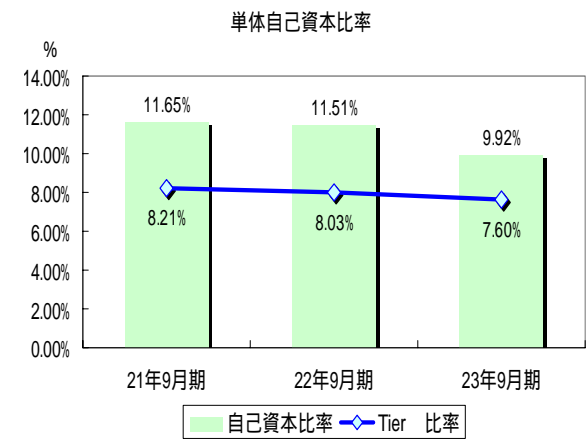
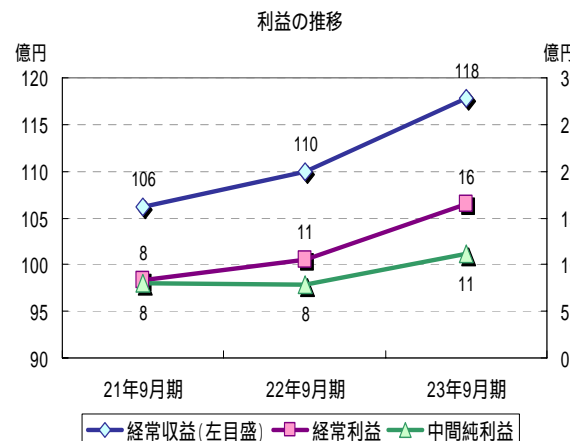
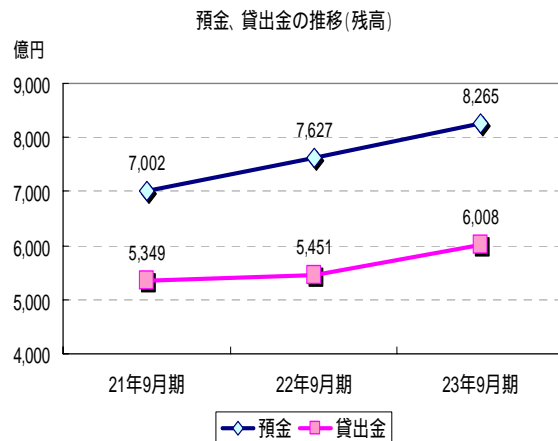
目 次

業績ハイライト	1
中期経営計画の進捗状況	2
損益の状況	3
貸出金の状況	4
預金と預り資産の状況	6
有価証券運用	7
預金、貸出金利回りの推移	8
不良債権の状況	9
自己資本比率の推移	10
地域活性化活動	11
店舗戦略	14

業績ハイライト（単体）

第2四半期のわが国の経済は、持ち直しの動きが続いており、輸出や生産は震災からの回復過程に比べて一服感はあるものの増加を続けております。設備投資や個人消費、住宅投資も持ち直しており、公共投資も下げ止まりつつあります。こうした中、当行では中期経営計画「すべてのお客様のために、地域のために（計画期間：平成22年4月～平成24年3月）」に基づく各施策へ取組み（中期経営計画の進捗状況は次頁をご参照ください）、預貸金収支を中心に収益拡大がみられたことから、**3期連続の増収増益**とすることができました。

- ・預金残高は、個人預金を中心に順調に増加し前中間期比637億円増加いたしました。貸出金残高は、個人ローンを中心に557億円増加いたしました。
- ・経常収益は前中間期比7億91百万円増加し117億82百万円に、経常利益は前中間期比5億88百万円増加し16億47百万円となりました。また、中間純利益は前中間期比3億27百万円増加し11億14百万円となりました。
- ・不良債権額は前中間期比18億円圧縮して159億円となり、不良債権比率は前中間期比0.61ポイント低下して2.63%となりました。
- ・単体自己資本比率は、バーゼルを見据えたTierの計画的な圧縮を図り、前中間期比では1.59ポイント低下し9.92%となりましたが、依然として国内基準を大きく上回る水準を維持しております。



中期経営計画の進捗状況（平成23年9月末）



- ・預金は、各種キャンペーン商品が好調で個人のお客さまを中心に残高増加、また、厳しい経済環境の中、**個人年金保険等の販売も好調**で、預り資産残高は順調に推移しています。
- ・個人ローン比率については、最終年度（H24/3）の目標を**前倒して**達成しました。

3つの挑戦	中計目標	実績	
	H24/3	H23/3	H23/9
預り資産残高「1兆円」*	9,625億円	8,884億円	9,279億円

(*)預り資産残高…預金、投資信託、個人年金保険（獲得ベース）、個人向け国債の合計額

個人ローン比率「40%」	43.5%	42.5%	44.1%
事業所融資先数「1万先」	10,300先	9,630先	9,810先

損益の状況



【損益状況(単体)】

(単位:百万円)

	23年9月中間期		22年9月中間期
		22年9月中間期比	
経常収益	11,782	791	10,991
業務粗利益	8,351	708	7,643
(除く国債等債券損益(5勘定戻))	(7,445)	(556)	(6,888)
資金利益	7,590	284	7,306
役務取引等利益	247	142	389
その他業務利益	1,008	281	726
(うち国債等債券損益)	(905)	(151)	(754)
経費(除く臨時処理分)	5,289	98	5,190
人件費	2,677	90	2,587
物件費	2,310	26	2,283
税金	301	18	320
実質業務純益	3,062	609	2,452
コア業務純益	(2,156)	(457)	(1,698)
一般貸倒引当金繰入額	-	-	-
業務純益	3,062	609	2,452
うち国債等債券損益(5勘定戻)	905	151	754
臨時損益	1,414	20	1,393
不良債権処理額	-	-	-
(貸倒償却引当費用+)	(-)	(-)	(-)
貸倒引当金戻入益	257	257	-
償却債権取立益	0	0	-
株式等関係損益(3勘定戻)	1,506	148	1,358
その他臨時損益	164	129	35
経常利益	1,647	588	1,059
特別損益	54	193	138
うち固定資産処分損益	24	1	22
うち減損損失	39	22	16
うち貸倒引当金戻入益	-	209	209
税引前中間純利益	1,592	394	1,198
中間純利益	1,114	327	786

経常収益は前年同期比7億円増収

・資金運用収益

個人ローンを中心にした貸出金利息収入の増加と有価証券残高、利回り拡大による利息配当金の増加により前年同期比3億円の増収

・役務取引等収益

投資信託、生損保の販売拡大による手数料の増加により前年同期比2億円の増収

・その他業務収益

外為売買益他により前年同期比1億円の増収

・信用コストの低下により貸倒引当金戻入益を計上し2億円の増収

経常利益は前年同期比5億円増益

・有価証券関係損益

有価証券評価損の処理を計画的に進めた結果、株式関係損益15億円、国債等債券関係損益9億円を計上したものの前年同期並で推移。

・貸倒引当金は総額で取崩しとなり与信費用は発生しなかった。

・経費は人件費を中心に前年同期比98百万円の増加

中間純利益は前年同期比3億円増益

・法人税等は前年同期比2億円の増加、法人税等調整額は1億円の減少

(注)1. 実質業務純益 = 業務純益 + 一般貸倒引当金繰入額

2. コア業務純益 = 実質業務純益 - 国債等債券損益

3. 臨時損益とは、損益計算書中「その他経常収益・費用」から一般貸倒引当金繰入額を除き、金銭の信託運用見合費用及び退職給付費用のうち臨時費用処理分等を加えたものであります。

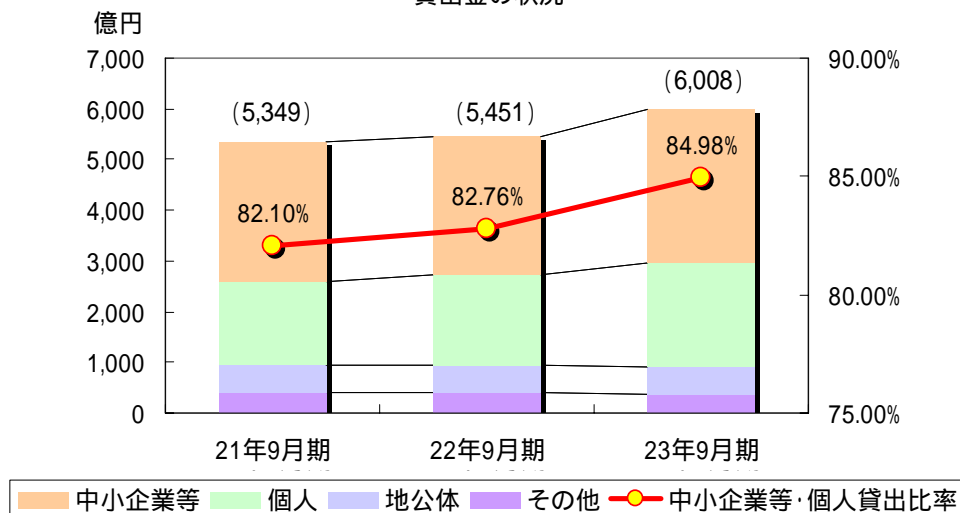
4. 「貸倒引当金戻入益」と「償却債権取立益」は、従来「特別損益」に計上しておりましたが、当中間期より「臨時損益」に計上しております。

貸出金の状況

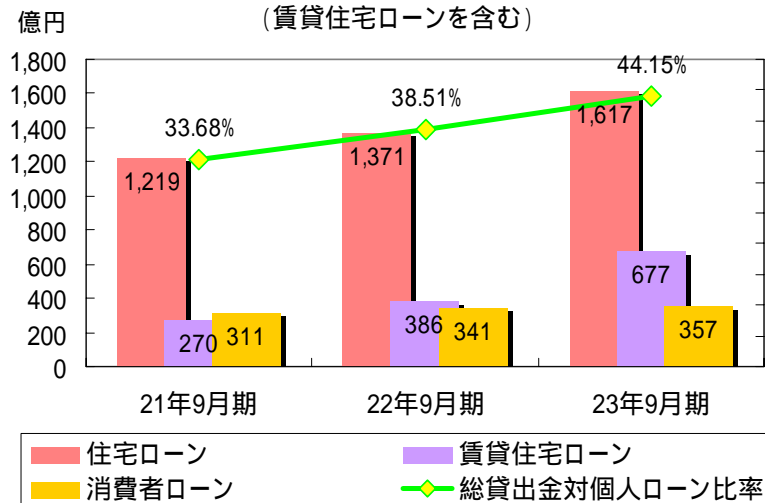
～ 中小企業等・個人向け取組み



貸出金の状況



個人向けローンの状況
(賃貸住宅ローンを含む)



(貸出金残高の内訳と推移)

(単位: 億円)

期末残高	21年9月期	22年9月期	21/9比	23年9月期	構成比	22/9比
貸出金	5,349	5,451	101	6,008	100.00%	557
中小企業等	2,767	2,714	53	3,049	50.75%	334
賃貸住宅ローン	270	386	116	677	11.27%	291
個人	1,624	1,797	172	2,057	34.24%	260
住宅ローン	1,219	1,371	151	1,617	26.92%	246
消費者ローン	311	341	29	357	5.95%	16
地公体	552	526	25	523	8.71%	3
その他	405	413	8	378	6.30%	34

貸出金は中小企業等、個人向け貸出に積極的に取組み、前年同期比557億円増加しました。

- ・ 中小企業向けには、「さいきょう成長基盤強化支援ファンド」や賃貸住宅向けローンに取組み334億円の増加
- ・ 個人向けには、住宅ローン、消費者ローンが好調に推移し260億円の増加
- ・ 中小企業等と個人向けへの貸出比率は、前年同期比2.22ポイント上昇し、84.98%となりました。

貸出金の状況 ~ 地域とともに

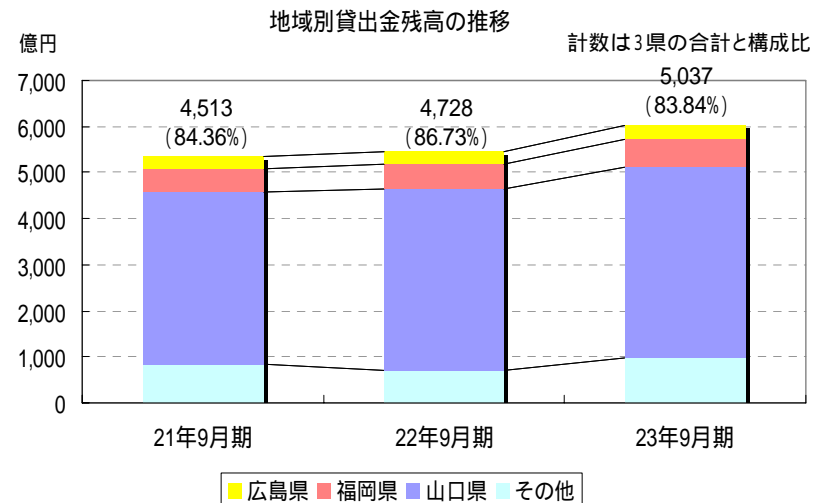
当行では、地域の皆さまからお預りした大切な預金を、その地域の企業や個人のお客さまへ貸出として運用する域内資金循環をモットーとしております。これからも、地元である山口県、福岡県、広島県を中心とする貸出を行ってまいります。

- ・ 23年9月末の地域別貸出金残高は、山口県、福岡県、広島県ともに前年同期比増加しております。
- ・ 23年9月末の3県合計の貸出金残高は5,037億円となり、前年同期比309億円増加し、総貸出金の83.84%を占めております。

《地域別貸出金残高の推移》

(単位:億円)

	21/9期	22/9期	21/9比	23/9期	構成比	22/9比
山口県	3,739	3,912	173	4,143	68.96%	230
福岡県	506	538	31	604	10.07%	66
広島県	267	276	9	289	4.81%	12
3県合計	4,513	4,728	214	5,037	83.84%	309
その他	836	723	113	971	16.16%	248
合計	5,349	5,451	101	6,008	100.00%	557



預金と預り資産の状況 ~ 1兆円への挑戦



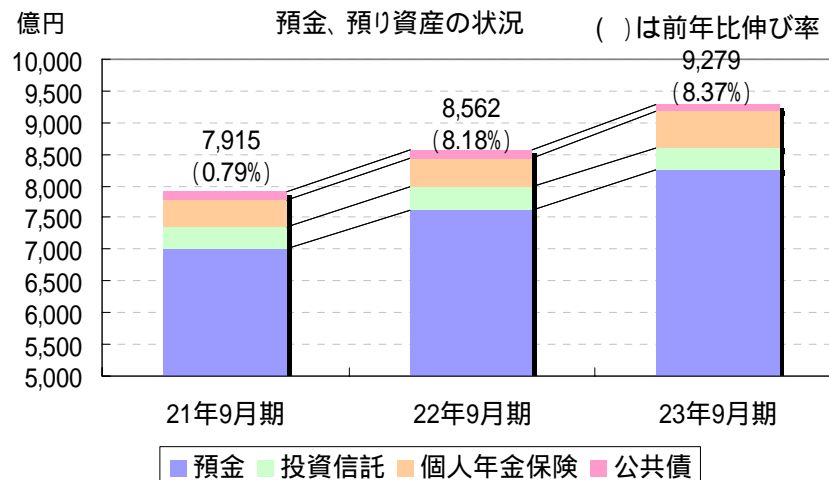
預金については、「スマッシュ定期」「山口国体開催記念定期」等がご好評をいただき、残高は前年同期比637億円増加いたしました。

地域のお客さまの多様化する資産運用ニーズにお応えするため、県内外12ヶ所にマネープラザを開設しております。専門スタッフがきめ細かくお応えすることでご好評をいただき、23年9月末の預り資産残高は、前年同期比79億円の増加となりました。

- ・ 預金と預り資産を合計した残高は23年9月末時点で9,279億円となり、1兆円に向け順調に拡大を続けております。

《預金、預り資産残高の推移》 (単位: 億円)

期末残高	21/9期	22/9期	21/9比	23/9期	22/9比
預金 + 預り資産	7,915	8,562	647	9,279	716
預金	7,002	7,627	625	8,265	637
預り資産	912	935	22	1,014	79
投信	347	356	9	336	20
公共債	129	123	6	99	23
個人年金保険等	436	455	18	578	123



有価証券運用では、国債を中心に運用を拡大し、有価証券残高は前年同期比608億円増加いたしました。

- 有価証券残高とともに、運用利回りも前年同期比0.05%上昇した結果、有価証券利息配当金は前年同期比2億円の増加となりました。

有価証券評価損の圧縮については、引き続き重要な経営課題として取組んだ結果、前年同期比5億円の改善とすることができました。

(有価証券残高の推移)

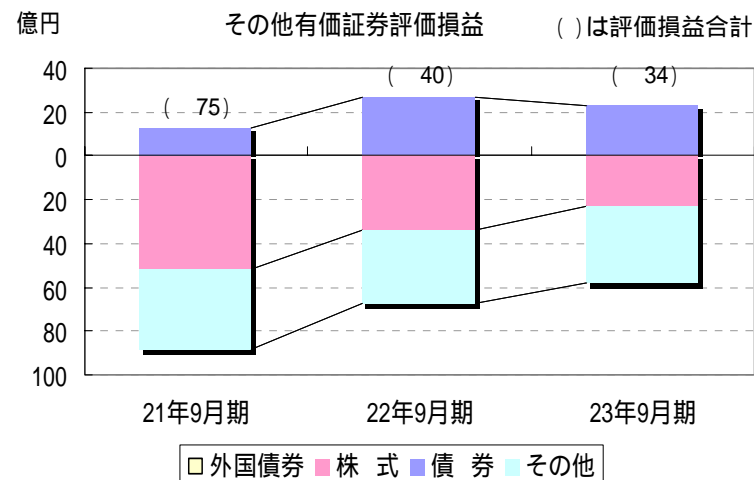
(単位: 億円、%)

期末残高	21年9月期	22年9月期	21/9比	23年9月期	22/9比
有価証券	1,314	1,436	122	2,045	608
国債	728	675	52	1,136	461
地方債	1	85	84	183	97
社債	142	101	40	210	108
株式	122	101	20	95	5
外国証券	69	199	129	182	16
その他証券	249	273	23	237	35
利回り(%)	0.70	1.08	0.38	1.13	0.05

(その他有価証券評価損益の推移)

(単位: 億円)

	21年9月期	22年9月期	21/9比	23年9月期	22/9比
有価証券	75	40	35	34	5
株式	52	34	18	23	10
債券	13	27	14	23	3
外国債券	0	0	0	0	0
その他	36	33	2	35	1



預金、貸出金利回りの推移

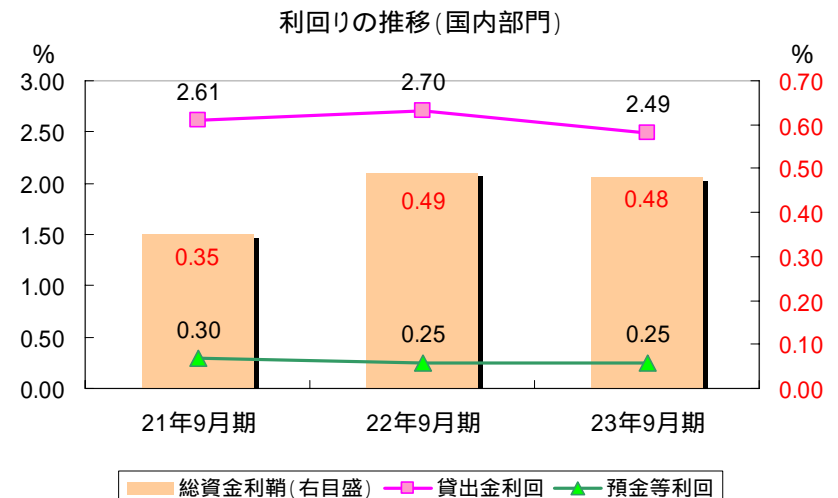
貸出金利回は、中小企業等向け貸出や個人向けローンを中心に確保に努めましたが、市場金利の低下等の影響もあり、前年同期比0.21%の低下となりました。

預金等利回りは、前年同期並みの推移となりました。

預貸金利鞘は低下したものの、有価証券利回りの拡大と経費率の圧縮により総資金利鞘は前年並みを確保いたしました。

(国内部門利回の推移) (単位: %)

	21年9月期	22年9月期	21/9比	23年9月期	22/9比
資金運用利回	2.13	2.15	0.02	2.02	0.13
貸出金利回	2.61	2.70	0.09	2.49	0.21
有価証券利回	0.70	1.04	0.34	1.10	0.06
資金調達原価	1.78	1.66	0.12	1.54	0.12
預金等利回	0.30	0.25	0.05	0.25	0.00
経費率	1.42	1.38	0.04	1.28	0.10
預貸金利鞘	0.89	1.07	0.18	0.96	0.11
総資金利鞘	0.35	0.49	0.14	0.48	0.01



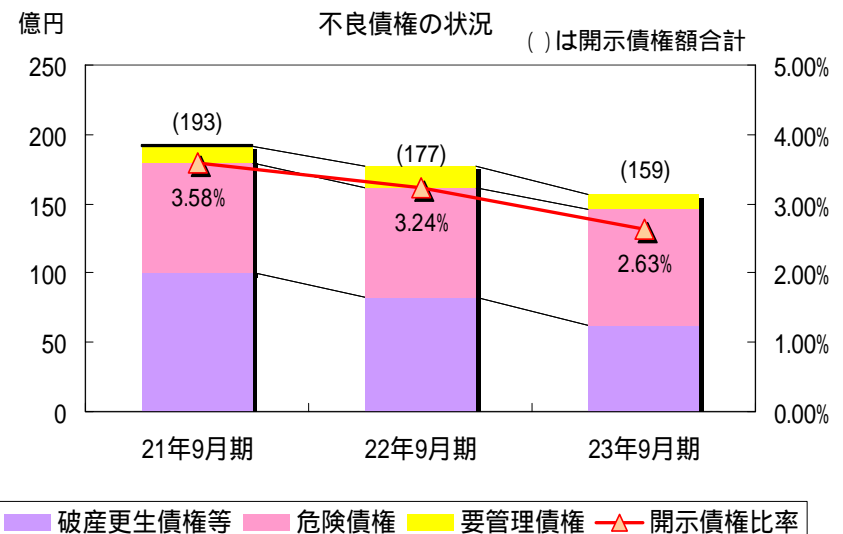
不良債権の状況

金融再生法開示債権は、中小企業の金融円滑化への対応に積極的に取り組んだ結果、前年同期比18億円減少いたしました。

金融再生法基準での開示債権比率は、前年同期比0.61ポイント低下し、2.63%となりました。

(金融再生法開示債権の推移) (単位: 億円、%)

	21年9月期	22年9月期	21/9比	23年9月期	22/9比
破産更生債権等	100	82	18	62	19
危険債権	80	80	0	84	4
要管理債権	11	15	3	11	3
開示債権合計	193	177	15	159	18
正常債権	5,189	5,307	117	5,880	573
開示債権比率 (%)	3.58	3.24	0.34	2.63	0.61
貸倒引当金	45	44	1	38	5
担保・保証等	135	121	13	107	14
保全率 (%)	93.88	93.21	0.67	91.67	1.54



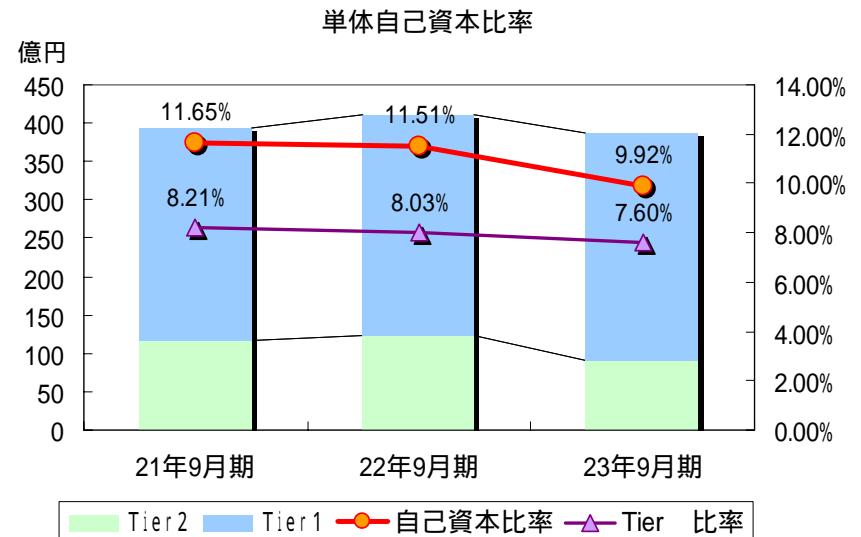
自己資本比率の推移

単体自己資本比率（国内基準）は、前年同期比では1.59%低下し、9.92%となりましたが、引き続き国内基準である4%を大きく上回る水準を維持しております。

- ・バーゼルを見据え、負債性資本調達を計画的に圧縮しており、資本調達コストの圧縮を図っております。
- ・普通株式や内部留保としてコアとなる自己資本（=Tier1）は、順調に増加しており、今後も利益確保による積上げを行ってまいります。

（単体自己資本比率の推移） （単位：億円、%）

	21年9月期	22年9月期	21/9比	23年9月期	22/9比
自己資本	393	411	18	388	23
Tier1	277	287	10	298	11
Tier2	116	124	8	90	34
負債性資本	80	90	10	60	30
リスクアセット	3,378	3,573	195	3,918	345
自己資本比率（%）	11.65	11.51	0.14	9.92	1.59
Tier1比率（%）	8.21	8.03	0.18	7.60	0.43



「東日本大震災災害義援金」の贈呈

「東日本大震災」により被害を受けられた方々の支援活動や被災地の救済等に役立てていただくことを目的に『災害義援金』を贈呈

【概要】

総額 **約47百万円**

(銀行、グループ会社7.5百万円、行員約4.5百万円)

贈呈先：日本赤十字社 / 山口県支部



「県下一斉クリーンアップ大作戦」への行員参加

地域の皆さまへの日頃の感謝、地域の環境美化、更には「おいでませ！山口国体・山口大会」を応援することを目的に「県下一斉クリーンアップ大作戦」への積極参加

【概要】

参加者 **約670名**

清掃場所 **全23ヶ所**



「さいきょう」E養成塾」の開講

地域企業の後継者・経営幹部層育成ニーズにお応えするため「さいきょうJE養成塾」を開講

【開講の実績】

周南校 (32名)、	周南校 (40名)
下関校 (29名)、	宇部校 (43名)
広島校 (30名)、	山口・防府校 (30名)
岩国・柳井校 (30名)	



「さいきょう おもしろお金ゼミナール」の開催

地域の子ども達に“お金の大切さ”“お金の役割”等について学んでもらうことを目的に「おもしろお金ゼミナール」を開催

【参加者実績】

周南会場	40組 / 80名
山口会場	20組 / 40名



「おいでませ！山口国体・山口大会」への応援活動

【当行の応援活動】

1. オフィシャルサポーター
2. 国体応援定期による寄付
第1弾：3300万円 第2弾：350万円
3. 競技面等の支援
バドミントン女子選手の採用（5名）
県バドミントン協会へ150万円寄付



「バドミントン」競技の普及活動

【当行の活動実績】

1. 当行バドミントン女子国体選手による「バドミントン教室」の開催
全9ヶ所で開催
2. 「ACT SAIKYO」日本リーグ2部昇格
快挙！！チーム結成1年目での昇格
3. 「おいでませ！山口国体」出場
成年女子の部 ベスト16



「ゆめタウン山口出張所」の全面改装

「ゆめタウン山口出張所」の全面改装

実施日

平成23年4月2日

改装【概要】

「ほけんの窓口@西京銀行」を設置（当行初！）

相談ブースの新設（2ブース）

キッズコーナーの設置



「南岩国支店」の新築移転

「南岩国支店」の新築移転

移転日

平成23年6月20日

新築移転【概要】

「ローンセンター」を設置

店舗延床面積 : 453.7㎡（約2.7倍）

駐車場台数 : 21台（11台増）

相談ブース : 2ブース



「ヤマダ電機山口店出張所」の開設

「ヤマダ電機山口店出張所」の開設

開設日

平成23年8月19日

開設概要

ヤマダ電機内の**イン・ストア・ブランチ**店舗

「ほけんの窓口@西京銀行」を設置

相談業務特化型店舗（保険、ローン等）



「小倉支店」の全面改装

「小倉支店」の全面改装

実施日

平成23年9月20日

改装【概要】

相談ブース : **3ブース**

応接室 : 2室

